

避雷器組込分電盤 取扱説明書

この度は避雷器（LA-1）組込分電盤をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本商品は、電源線・アース線から侵入する誘導雷サージから家庭内の機器を保護する避雷器を組込んだ住宅用分電盤であり、避雷器の表示灯（通常点灯、異常時消灯）で正常動作が目視確認できる特徴を有しています。

また、本取扱説明書は、お客様控えも兼ねております。施工終了後、裏面の電気工事業者名欄に記載のうえ、お客様に本取扱説明書をお渡しください。

1. 安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- 施工・点検・避雷器交換時は、メイン電源を「OFF」にしてから行ってください。電源が「ON」状態での取付けは、感電の原因となります。
- 本製品は、単相3線式（AC100/200V）専用です。他の相線式で使用しないでください。
- 配線方法は、必ず本取扱説明書に従ってください。

⚠ 注意

- 被保護機器のアース線は、分電盤内のアース端子に接続し、避雷器と接続一点接地としてください。
- 配線工事は、電気工事免許取得者の方が行ってください。

2. 使用上の注意事項

- (1) 直撃雷、アンテナ線、通信線等の信号から侵入する雷サージからの保護はできません。また、誘導雷サージであっても連続して多数回侵入するなどした場合、避雷器は耐えられず、性能劣化や短絡または破損の恐れがあります。
- (2) 使用回路の電気的条件や使用環境によっても、性能劣化や短絡または破損の原因となります。これを防止するために、次の事項を厳守してください。
 - ① 直射日光の当たるところや発熱体近傍など異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。
 - ② 直接風雨にさらされるところや蒸気の出るところなど、高湿度の場所では使用しないでください。
 - ③ 粉塵や塩分の多いところや、酸・アルカリ・腐食性ガス等の有害な雰囲気のある場所、溶剤・切削油・潤滑油などが付着した状態では使用しないでください。
 - ④ 外装樹脂に亀裂が入るような強い振動、衝撃（落下等）や圧力等を加えないでください。

3. 配線方法

- (1) 被保護機器は、分電盤の盤アース端子より配線されたアース線に接続し、避雷器と接続一点接地としてください。被保護機器と避雷器が接続一点接地されていない場合、被保護機器を保護できません。また被保護機器が破損する恐れがあります。
- (2) 避雷器のN端子には、必ず単相3線のN相を接続してください。他の相（L1またはL2）を接続されますと、破損の原因になります。L1、L2は逆接続になっても問題ありません。
- (3) 住宅用分電盤の盤アース端子は、5.5mm以上の太さの電線で接地してください。盤アース端子の接地はD種接地（第3種接地）で抵抗値を極力低くしてください。（100Ω以下で接地してください）
また、アース線は最短距離で接続してください。
- (4) 避雷針の接地との共用はしないでください。

4. 保守・点検

- (1) 定期的に避雷器の動作表示ランプが点灯していることを確認してください。（停電時は点灯しません）
- (2) 避雷器の動作表示ランプが消灯している場合は保護機能がなくなっていますので、直ちに電気工事業者に新品との交換を依頼してください。
- (3) DC500V以下の絶縁抵抗試験（対地間）は、避雷器を接続したままで実施することができます。
- (4) 耐圧試験を実施する場合は、避雷器の接続を外して実施してください。
- (5) 漏電遮断器が何度も動作する場合、避雷器が寿命となった可能性があります。避雷器を外して漏電遮断器が動作しなくなるか、確認してください。

